

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 3 区分
【発行日】平成 19 年 11 月 15 日 (2007.11.15)

【公開番号】特開 2006-224269 (P2006-224269A)
【公開日】平成 18 年 8 月 31 日 (2006.8.31)
【年通号数】公開・登録公報 2006-034
【出願番号】特願 2005-43277 (P2005-43277)
【国際特許分類】

B 2 5 C 1/08 (2006.01)

【F I】
B 2 5 C 1/08

【手続補正書】
【提出日】平成 19 年 9 月 28 日 (2007.9.28)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

シリンダ上方に設けられ燃焼室を形成するチャンバヘッドと、
該チャンバヘッドに支持されたモータにより回転するファンと、
前記燃焼室内で前記ファンにより攪拌混合された燃料と空気の混合気に着火する点火部
と、を備えた燃焼式釘打機であって、
前記点火部は、点火プラグと、該点火プラグに対向する位置に設けられ前記チャンバ
ヘッドに取り付けられた点火グランドからなり、前記点火プラグの先端角を 45 度以下とす
ることを特徴とした燃焼式釘打機。

【請求項 2】
前記点火グランドは、前記チャンバヘッドと一体に形成されていることを特徴とする請
求項 1 記載の燃焼式釘打機。

【請求項 3】
前記点火グランドは、前記チャンバヘッドの前記燃焼室側の面から前記燃焼室に突出す
る突出部に設けられ、前記チャンバヘッド、前記点火グランド、及び前記突出部は一体に
形成されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の燃焼式釘打機。

【請求項 4】
前記点火グランドの接地対向部をテーパーとしたことを特徴とした請求項 1 乃至 3 のい
ずれかに記載の燃焼式釘打機。

【請求項 5】
前記点火グランドの先端角を 45 度以下とすることを特徴とした請求項 1 乃至 4 のいづ
れかに記載の燃焼式釘打機。

【請求項 6】
前記点火プラグの先端と前記点火グランドの先端の位置を、前記シリンダの移動方向と
直交する方向にオフセットさせることを特徴とした請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載の燃
焼式釘打機。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0008
【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、従来のガス釘打機では点火後に発生する火種が点火プラグ50や点火グランド51によって熱を奪われ、失火してしまう現象が発生し、動作不良を起こす原因となっていることが判った。従来の点火グランド51の形状は、図10に示す点火グランドの先端角2が約50～60度で、図11に示す点火グランド接地対向部55の形状が、燃焼室上面26に略平行に伸び、角部に僅かなRがついている形状であった。この点火グランド51の形状では熱容量が大きく、火種の熱を奪い失火すること